

添付書 B

保護者の方々に役立ち得るデジタルアクセスの平等性に関する調査の回答手順

全般:

“電子機器”の定義には、ラップトップ、デスクトップ、クロームブック、アイパッド、フルサイズタブレットといった電子計算機能を持つ電子機器が含まれます。本調査における“電子機器”には、電話、ミニタブレット、MIFI等のモバイルインターネットアクセスポイントは含まれません。

“専用”電子機器は、生徒が学習活動に参加するに当たり、他人と協同使用せずに、学校外に持ち出せる電子機器を意味します。生徒個人のみが使用するものであり、他の生徒や家族と共同使用するものではありません。

“十分に”接続は、各所帯の利用ピーク時も含めて、生徒が必要な教育指導を受け、学習活動に参加する時間内に、定期的に問題（速度遅延、バッファリング、切断、不安定な接続）が発生しないことを意味します。

“安定性のある”接続の判断基準は全国教育技術計画（National Educational Technology Plan）が目標として規定した“常時”アクセスであり、当計画では、生徒が、科学技術を用いた教育を常時、何処でもアクセス出来る状態をいいます（NETP 2017）。

質問 1: 本学地区は、学校年度内に、お子様に学校もしくは学地区専用の電子機器を提供しましたか？

“はい”は、学校が生徒に、自宅使用の専用電子機器を提供したことを意味します。

“いいえ”は、学校が生徒に、自宅使用の専用電子機器を提供していないことを意味します。

質問 2: お子様が学校外で学習を遂行するに当たり、どの電子機器を最も頻繁に使用しますか？（学校提供の電子機器またはその他の電子機器など、生徒が学習を遂行するに当たり、最も頻繁に用いるもの）

選択肢は、学校提供またはその他のいずれかの電子機器で、生徒が学業を行う上で最も頻繁に使用するものになります。

デスクトップ ラップトップ タブレット クロームブック スマートフォン 電子機器なし
質問1 で“はい”と回答した場合は、“電子機器なし”以外の回答を選択してください。

質問 3: 質問 2 の、最も頻繁に用いる学習用電子機器の提供元はどちらになりますか？（学校提供の電子機器またはその他の電子機器など、生徒が学習を遂行するに当たり、最も頻繁に用いるもの）

“学校”は、生徒使用のため、学地区が電子機器を提供したことを意味します。

“個人”は、学地区提供でない電子機器を使用していることを意味します。

“電子機器なし”は、生徒が使用できる電子機器が無いことを意味します。

質問2”で電子機器なし”と回答した場合は、本質問に“電子機器なし”と回答してください。

質問 4: 主に用いる電子機器（質問 2 で特定されたもの）は、所帯内の他の方と共同使用しますか？

“共同使用する”は、複数の生徒・人間が、電子機器を学校や仕事目的に使用することをいい、学校提供の、もしくはその他の電子機器を、生徒が学業を遂行するに当たり、最も頻繁に使うものをいいます。

“共同使用しない”は、一人の生徒専用であり、学校提供の、もしくはその他の電子機器を、生徒が学業を遂行するに当たり、最も頻繁に使うものをいいます。

“電子機器なし”は、生徒が使用できる電子機器が無いことを意味します。

質問2 および3 で各々 “電子機器なし”と回答した場合は、本質問に“電子機器なし”と回答してください。

質問 5:最も頻繁に用いる学習用電子機器（質問 2 で特定したもの）により、お子様は、学校外での学習に十分に参加出来ますか？

“はい”は、生徒が、十分な能力を備えた電子機器（ラップトップ、デスクトップ、クロームブック、フルサイズのアイパッドあるいはタブレット等の計算機器または計算機能を備えた機器）を持ち、インターネットに接続でき（インターネットが常時接続可能でなくても）、画面の最小寸法が9.7”であり、キーボード（画面上または外付け）マウス、タッチスクリーンまたはタッチパッドがあり、全てのアプリを起動でき、問題なく、またはほぼ問題なく学習できることを意味します。

“いいえ”は、生徒に、上記の基準を充たす電子機器が無いことを示します。

質問2、3 および4 で各々 “電子機器なし”と回答した場合は、本質問に“電子機器なし”と回答してください。

質問 6: お子様は、本拠地とする住居で、インターネットにアクセス出来ますか？

“はい” は、生徒が本拠地として居住する住居でインターネットにアクセスできることを意味します。

“いいえ” は、本拠地とする住居でインターネットにアクセスできないことを意味します。

但し、生徒が複数の住居で居住する時間が均等である場合は、最もインターネットの接続が困難な住居についてお答えください。

質問 7: お子様は本拠地とする住居でどのインターネットサービスを最も頻繁に使用されますか？

“住宅ブロードバンド” は、Spectrum、AT&T、Frontier等のプロバイダーを通して、住宅でケーブル（ファイバーまたは同軸）を用いて帯域幅の広いインターネットに接続する形態を意味します。

“携帯” は、携帯電話基地局からコンピューターやその他の電子機器にインターネットの接続を届ける形態であり、インターネットのプロバイダーとして携帯電話が用いられます。

“モバイルホットスポット” は、電話のセルラーデータを共有する専用ハードウェア機器またはスマートフォン機能によってワイヤレスアクセスポイントが作られる形態を意味します。例として、携帯電話や Kajeet、Verizon Jetpack、Netgear Nighthawk または MiFi 等の電子機器が挙げられます。

“コミュニティー WiFi” は、訪問者や来客者が、図書館、喫茶店やホテル等のコミュニティーにおける既存の Wi-Fi インフラに接続できる形態を意味します。

“サテライト” は、住宅敷地内の衛星放送受信アンテナを用いたワイヤレス接続を意味します。

“ダイヤルアップ” は、モデムおよび電話回線を用いたインターネットへの接続を意味します。

“DSL” デジタル加入者線は、既存の電話ネットワーク上の電話プラグを壁に差し込むジャッキにより高周波数帯域にアクセスし、電話しながらもインターネットを用いることが出来るものを意味します。

“その他” は以上のいずれにも該当しないことを意味します。

“無し”は、居住する住居でインターネットに接続できないことを意味します。

質問6で“いいえ”と回答した場合は、“無し”と回答してください。

質問8: 本拠地とする住居で、ビデオストリーミングや宿題のアップロード等、お子様は、インターネットの速度や質に影響されることなく、学習活動全般を行えますか？

“はい”は、生徒が本拠地とする住居で学習活動を行うにあたり、インターネット接続の質により、インターネット通信断が発生することが無いまたは殆ど無いことを意味します。

“いいえ”は、生徒が本拠地とする住居で学習活動を行うにあたり、インターネット接続の質により、インターネット通信断が定期的に発生し、学習活動を全て行えないことを意味します。

質問6および7で各々“いいえ”“無し”と回答した場合は、“いいえ”と回答してください。

質問9: お子様の本拠地とする住居で、十分に安定性のあるインターネットの接続性を実現するに当たり、困難が生じる場合、何が主な原因になりますか？

“アクセスの有無”は、実際にご自宅でファイバー（またはサテライト、携帯サービス）によりアクセスできないことを意味します。

“費用”は、居中地域内での提供サービス費用が法外であることを意味します。

“無し”は、お子様が、十分に安定性のあるインターネットの接続性を実現できていることを意味します。

“その他”は、上記のいずれも当てはまらないことを意味します。

質問8で“はい”と回答した場合は、“無し”と回答してください。